

平成23年行政事業レビューシート

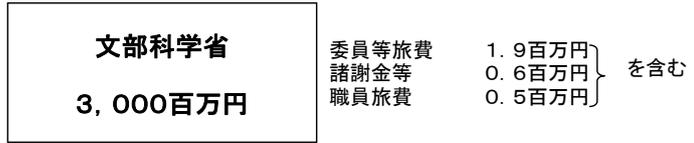
(文部科学省)

<b>事業名</b>	橋渡し研究加速ネットワークプログラム		<b>担当部署</b>	研究振興局		<b>作成責任者</b>		
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	平成23年度～		<b>担当課室</b>	ライフサイエンス課		ライフサイエンス課長 石井康彦		
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	IX-2 科学技術振興のための基盤の強化				
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	-		<b>関係する計画、通知等</b>	健康研究推進戦略(平成21年7月健康研究推進会議決定)、第3期科学技術基本計画(平成18年3月閣議決定)				
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	医療としての実用化が見込まれる有望な基礎研究の成果を有している大学等に対して、開発戦略策定や薬事法に定める基準を目指した試験物の製造等をはじめとする「橋渡し研究」の支援を行う拠点を整備することにより、研究の成果を着実に国民・患者のための医療として定着させることを目指す。							
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	<p>全国7か所に設置した橋渡し研究支援拠点において、研究開発支援に必要な生物統計家・知財専門家等の人材の確保・登用を進め、OJTによる育成を行い支援能力の蓄積と向上を図るとともに、薬事法に定める基準に準拠したレベルで、細胞調製設備(CPC)等の試験物(※)製造設備を整備する。</p> <p>平成23年度より、各拠点の自立した橋渡し研究支援を促進するため、補助事業に制度変更するとともに、橋渡し研究を加速するため、全国7箇所の支援拠点を中核として、地域性や開発シーズの特性に応じた、大学等から構成される橋渡し研究ネットワークを形成している。</p> <p>※ 薬剤や細胞などの候補物質。</p>							
<b>実施方法</b>	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求	
		補正予算	-	-	-	-	-	
		繰越し等	-	-	-	-	-	
		計	-	-	-	3,000	3,700	
	執行額	-	-	-	-	-	-	
	執行率(%)	-	-	-	-	-	-	
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標		成果実績	単位	20年度	21年度	22年度	目標値(23年度)
	基礎研究の成果が薬事法に基づく治験の段階に移行した数			件	-	-	-	14 (1拠点あたり2件ずつ)
			達成度	%	-	-	-	-
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		活動実績 (当初見込み)	単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	橋渡し研究支援拠点で支援しているシーズのうち、臨床研究を実施している課題の数			件	-	-	-	50 ( - )
<b>単位当たりコスト</b>	60(百万円/課題)		算出根拠	60(百万円/課題) =(平成23年度当初予算額:3,000百万円)/(実施見込課題数:50)				
<b>平成23・24年度予算内訳</b>	<b>費目</b>	<b>23年度当初予算</b>	<b>24年度要求</b>	<b>主な増減理由</b>				
	橋渡し研究の支援等	2,812百万円	3,584百万円					
	橋渡し研究支援拠点の活動・連携の促進等	184百万円	112百万円					
	諸謝金、旅費等	3百万円	4.3百万円					
	計	3,000百万円	3,700百万円					

※四捨五入の関係で、内訳と総額が一致しない場合がある。

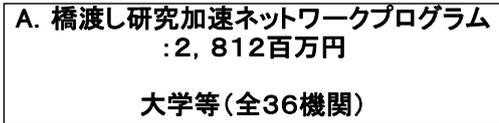
事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	－	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	－	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	－	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	－	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	－	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか	
	－	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果	<p>○全ての採択機関について、支出先・使途を把握し、備品が適切に購入されたか等について、現地での確認等も含む額の確定調査を実施する。</p> <p>○成果報告書の提出等により、事業開始時の当初計画と比べた進捗状況や今後の展望について年度ごとに確認する。</p> <p>○平成23年度の事業終了に向け、厳格に事後評価を行うとともに、橋渡し研究を加速するため、橋渡し研究支援拠点の一層の充実・強化を図るべき。</p>		
予算監視・効率化チームの所見			
		<p>本事業は、平成21年度行政事業レビューの指摘を踏まえたものとなっており、執行面における課題もなく、事業の成果目標もたてられていることから、適切な事業と認められる。</p>	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※当該資金の流れは、予算積算上において想定される資金の流れを記載したものであり、実際の資金の流れとは異なる可能性がある。



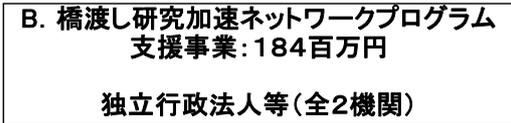
医療としての実用化が見込まれる有望な基礎研究の成果を有している大学等に対して、開発戦略策定や薬事法に定める基準を目指した試験物の製造等をはじめとする「橋渡し研究」の支援を行う拠点を整備することにより、研究の成果を着実に国民・患者のための医療として定着させることを目指す。

[ 公募・補助 ]



基礎研究の成果を臨床研究へつなげる「橋渡し研究」の実施、研究戦略や薬事法に定める基準を目指した試験物の製造等をはじめとする「橋渡し研究」の支援。

[ 公募・委託 ]



橋渡し研究加速ネットワークプログラムにおける課題採択における審査、研究の評価、事業の管理等の事務を支援。

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
行っているか  
について補足  
する) (単  
位:百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者について  
 記載する。費目と使途の双方  
 で実情が分かるように記載)

A. 大学等(全36機関)			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
補助金	橋渡し研究加速ネットワークプログラム	2,812			
計		2,812	計		0
B. 独立行政法人等(全2機関)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
委託費	支援業務委託費	184			
計		184	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0